

ノーベル賞受賞者

大村智 北里大学特別栄誉教授より 本誌の新型コロナウイルスに対する 「イベルメクチン」の記事について お手紙をいただきました。

本誌に掲載された、新型コロナウイルスに対するイベルメクチンの効果に関する記事を読まれて、2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞され、イベルメクチンを開発された大村智 北里大学特別栄誉教授より吉田繁光 本誌発行人宛てにお手紙をいただきました。大村特別栄誉教授より公開することを許可いただきましたので、ここに掲載させていただきます。

大村特別栄誉教授にお読みいただいた記事は、柳澤厚生 国際オーソモレキュラー医学会会長・点滴療法研究会会長の連載「患者さんと医師のためのオーソモレキュラー医学情報」2021年4月号「米国救急医学専門医グループが提唱する新型コロナウイルス感染の予防／治療プログラム」と、増田陽子 BFL クリニック医師の連載「リオダンクリニック通信」2021年9月号「新型コロナに対するイベルメクチン～効果とQ & A、です。お手紙で大村特別栄誉教授は、柳澤先生と増田先生が医師としての的確にイベルメクチンの特性を示されていることに感謝の意を表されておられます。

本誌は、偉大なノーベル賞受賞者よりお手紙がいただけたことを励みとするとともに、大村特別栄誉教授のお考えを公開することでイベルメクチンについて正しい評価が早急に行われ、多くの人々が救われることを望みます。



SATOSHI ŌMURA, Ph. D
DISTINGUISHED EMERITUS PROFESSOR

THE KITASATO INSTITUTE
KITASATO UNIVERSITY

9-1, SHIROKANE 5-CHOME
MINATO-KU, TOKYO 108-8641, JAPAN

株式会社クリピュア
代表取締役
吉田 繁光 様

拝啓

コロナ禍と異常気象の中、気の重い日々が続いております。
この度はイベルメクチンと新型コロナウイルスに関わる記事が掲載されている
貴月刊誌をお送り頂き、有難うございました。柳澤厚生先生と増田陽子先生の記
事では、的確にイベルメクチンの特性を示して下さり、有り難く思っております。
世界の規制当局が使ってはいけないという科学的な説明もない中で、医療現場
の先生方の体験には説得力があります。許認可を目指して、世界で36か国
122件の治験が行われており、既に有効性を示す多くの論文が報告されてお
り、早急にイベルメクチンがさらに多くの人々を救う日が近いことを祈ってい
るところです。

貴殿のご配慮に感謝致しますと共に、ご健康と益々のご活躍をお祈りして
おります。

敬具

2021年9月6日

大村 智